

2021年度 那覇地区婦人科検診のご案内

【お申込み期間】

2021年8月26日(木)11時～各検診日の2週間前まで

婦人科検診日程：受付時間 13:00-15:30

日程	会場
10月4日(月)	JTA本社1階(山下町)
11月12日(金)	那覇空港3階 JTA会議室
11月15日(月)	
12月13日(月)	

大切なお知らせ

◆ポイント1

各検診日の2週間前までにお申込みください。
お申込み後の予約変更も可能です！
受診予定日3日前にリマインドメールが届きます。
忘れずにご受診ください！

◆ポイント2

**事前郵送はありませんので、手ぶらで
ご受診いただけます。**

◆ポイント3

2021年度も健保補助により自己負担
はありません。(オプション検査は自己負担)
健保補助は年度1回のみとなります。

WEB申込方法

お申込はWEBのみ

- ①下記URLよりマイページ登録ください。
- ②マイページ登録完了のメールが指定アドレスに届きます。
※昨年度、登録を行った方も再度登録が必要となります。
- ③受診希望日の2週間前までに、お申込み画面からご予約ください。
- ④予約変更は同会場なら可能ですが、キャンセルされる場合は、
健診ヘルプデスクにお電話ください。
- ⑤予約日時の5分前までに会場へお越しください。

※定期健診やインフルエンザの申込みとは別に、初期登録し、
婦人科検診用のID取得が必要です。

<https://kenshin-jpm.jp/jal-kenpo/top>

- ◇今年度(2021年4月-2022年3月31日の期間)既にJAL健保の補助を利用して健診を受診された方は受診できません。
- ◇日本航空健康保険組合に加入している社員が対象です(ご家族は対象外)
- ◇妊娠中の方(妊娠の可能性のある方)はマンモグラフィ検査・子宮頸がん・子宮体部細胞診はご受診できかねます。
- ◇現在治療中や経過観察中の方は一部受診できない場合がございます。
- ◇子宮頸がん検診は男性医師の可能性もございますので、予めご了承ください。
- ◇予約が定員に達し次第、お申込み終了となります。キャンセル待ち等の対応はございません。
- ◇マンモグラフィ検査・子宮頸がん細胞診 & HPV検査はバス検診となります。

◆健診ヘルプデスク

TEL: 03-6327-1870

9:00-12:00 / 13:00-17:00

(土日祝日除く)

一般財団法人日本予防医学協会



婦人科検診オプション検査



婦人科検診オプション検査につきましては、精密検査や治療報告の代用にはなりません。
健康診断などで精密検査や治療の指示をされている方は、医療機関での検査をお願いいたします。

項目	検査方法	説明	料金(税込)
妊活セット ムンプス抗体・梅毒・クラミジア・淋菌	採血 医師による採取	妊娠中に感染すると、胎児に悪い影響を与える感染症です。 妊娠する前にワクチンなどで予防することが可能な為、現在感染しているかどうか、抗体があるかどうかを検査することが大切です。 今すぐに妊娠を予定していなくても早めに自分の身体をチェックして、抗体がない方はワクチンを打つなどして予防しておきましょう。	¥5,000
ムンプス抗体	採血	妊娠初期での感染は流産の可能性が3割近くに跳ね上がります。 また妊娠前の成人女性が感染すると、卵巣に炎症を起こし不妊症になる可能性があります。	¥2,000
梅毒 TPHA定性・RPR法定性	採血	赤ちゃんが胎内で亡くなったり、先天梅毒として生まれる心配があります。	¥1,200
クラミジア・淋菌	医師による採取	クラミジア：症状を感じにくく、気付かないことが多い感染症です。 女性の場合、放っておくと卵管炎を起こし不妊症や子宮外妊娠の原因となります。 淋菌：放置すると卵管炎、腹膜炎、肝周囲炎を起こし、不妊症の原因となります。	¥3,000
貧血精密	採血	女性は身体のサイクルの関係で、どうしても貧血になりがちです。 心身の不調を訴えて受診した女性の半数以上が、「潜在性鉄欠乏性貧血」であるとも言われています。 何らかの身体の不調を抱えている女性は、貧血予備軍である“隠れ貧血”の可能性があるので、この機会に検査をすることをお勧めします。	¥3,500
甲状腺ホルモン FT3/FT4・TSH	採血	甲状腺疾患患者の9割が女性といわれており、特に30代～60代が多く罹ります。 だるい、疲れやすいなど体調が悪い時や、血縁者に甲状腺の病気がある人は1～2年に1回は検査を受け経過を診るのが望ましいでしょう。	¥3,000
リウマチ RF定量	採血	リウマチは女性ホルモンが関係あるといわれ、女性に多く発症するのが特徴です。 関節に炎症が起き、痛みや腫れを伴いながら患部が変形する特徴を持ち、微熱やだるさ、食欲不振など、全身に異常をもたらすため、悪化すると日常生活を送るのが困難になることも。	¥1,200
Viewアレルギー-39	採血	アレルギー疾患を持つ人は約3人に1人にのぼり、増加していると言われています。 しかし、自覚症状がなかったり、自分の症状がアレルギーなのか、その他の病気なのか見分けるのが難しいときがありませんか？ 鼻水やくしゃみの原因は、風邪？それともアレルギー？アレルギー疾患を起こさないためには、何がアレルゲン（アレルギーの原因と考えられる物質）になるのかを見つけ出して、避けることが重要です。	¥12,000

◆ 健診ヘルプデスク

TEL : 03-6327-1870

9 : 00-12 : 00 / 13 : 00-17 : 00

(土日祝日除く)

一般財団法人日本予防医学協会

